

祝・日野駅開業 130 年！ 令和 2 年 **2/8** (土)

日野の近代化を紐解く

～ 煉瓦・ビール・養蚕 ～



大正時代の中央線多摩川鉄橋（日野煉瓦造りの橋脚） 佐藤元雄家提供写真

明治 23 年（1890 年）1 月 6 日に日野駅が開業して今年で 130 年。JR 中央線（旧甲武鉄道）日野駅～立川駅間を結ぶ多摩川鉄橋には約 20 万個の「日野煉瓦」が使われ、今も日本一の過密ダイヤを誇る JR 中央線を現役で支えています。

また、復刻された多摩地域最古のビール「豊田ビール」の元祖、山口麦酒や現在修復中の国登録有形文化財日野桑園第一蚕室（通称桑ハウス）のことなど、日野の近代化を象徴する文化財から郷土の先人たちの先進性と柔軟性を学ぶ講座です。

【現地ガイド】（市学芸員による）

「日野駅周辺の日野煉瓦ゆかりの場所をめぐる」

集合：午前 11 時 JR 中央線日野駅バスロータリー側交番脇

解散：桑ハウス日野桑園第一蚕室前（12 時 30 分頃を予定）

定員：電話受付先着 30 人 ※荒天中止



日野桑園第一蚕室外観イメージパース（日野市商工会 平成 31 年 3 月）

【講演】

①「日野の近代化を煉瓦、ビール、養蚕から考える」

（市学芸員）

②「近代産業遺産としての桑ハウスの保存と活用を考える」

（首都大学東京名誉教授 日野市文化財保護審議会委員 山田幸正氏）

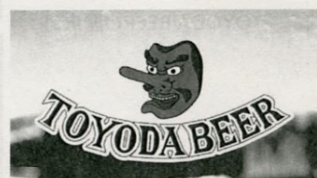
③「桑ハウスの修理現場から」

（一級建築士事務所 COCOON 設計室代表 太田陽子氏）

時間：13 時 45 分～ 15 時 50 分（受付開始 13 時 30 分）

会場：市民の森ふれあいホール 2 階 コミュニティルーム 1

定員：電話受付先着 60 人



復刻 TOYODA BEERラベル



市民の森ふれあいホール（日野本町 6-1-3）

申し込み：日野市郷土資料館（☎ 042-592-0981）参加費無料

令和 2 年 1 月 23 日（木）午前 9 時から電話受付 *現地ガイド、講演会のみ参加も可能
共催：日野市生涯学習課 ・ 日野市郷土資料館 ・ 日野市新選組のふるさと歴史館